

DEODORIZER FOR SHOES

Patent Number: JP2000236914
Publication date: 2000-09-05
Inventor(s): YOSHIMATSU TAKESHIROU
Applicant(s): KYORITSU DENKI SANGYO KK
Requested Patent: ☐ JP2000236914
Application Number: JP19990046521 19990224
Priority Number(s):
IPC Classification: A43D3/12; A47L23/20
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To securely remove bad smell due to sweat, etc., by providing an air pipe with an air blow port facing to shoes, and also providing the air blow port with an ozone generator.

SOLUTION: Shoes 2 are placed on three stock shelves 7 at the front of a wall member 3b of a stock base 3, and when an ozone generator in a base member 3a of the stock base 3 is actuated, a high voltage generator applies high voltage DC to cause a corona discharge. When a corona discharge occurs, the discharge energy generates wind containing ion and ozone, and the wind flows toward needle electrodes and is distributed in a box 22. The distributed wind containing ion and ozone is forcibly fed to an air pipe by the fan at the other side of the box 22, and is blown to the shoes 2 and its peripheral from multiple L-shaped air blow ports 9 attached to the air pipe. A result is that bad smell in and around the shoes 2 can be removed.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 靴を履む位置にはエアースパイプのエアースピカ吹き出し口が配設されるとともに、前記エアースパイプのエアースピカ吹き込み口にはイオン及びオゾンを含む風を発生させるオゾン発生器が設けられていることを特徴とする靴の消臭装置。

【請求項2】 前記オゾン発生器は筒状電極とこの筒状電極の一方の開口部の外側付近に配置された針状電極とにより形成され、前記電極間に高電圧を印加することで筒状電極内が帯電してクーロン力とコロナ放電による放電エネルギーによって発生するイオン及びオゾンを含む風を前記筒状電極の他方の開口部から吹き出すように形成されたことを特徴とする請求項1記載の靴の消臭装置。

【請求項3】 前記オゾン発生器によって発生されたイオン及びオゾンを含む風をファンによって強制的にエアースパイプのエアースピカ吹き出し口から吹き出すように形成されたことを特徴とする請求項1又は2記載の靴の消臭装置。

【請求項4】 前記エアースパイプのエアースピカ吹き出し口が上下動可能に設けられたことを特徴とする請求項1又は2記載の靴の消臭装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は靴の消臭装置、詳しくは蒸れ等による靴の嫌な臭いを消すことができるとともに、殺菌効果にも優れている靴の消臭装置に関する。

【0002】

【従来の技術】蒸れ等による靴の中の嫌な臭いは靴下に移り、靴を脱いだときや座敷に上がったとき等に周りの人を不愉快な気分させている。そこで、従来はこのような嫌な臭いを消す方法として、例えば靴の中に予め科学処理がなされた消臭効果を有する中敷きを入れておくようにしたり、或いは靴の中に消臭スプレーを噴霧するようにしたりすることが行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】然し乍ら、前者の靴の中に消臭効果を有する中敷きを入れてたものにおいては、一定の期間が過ぎると消臭効果がなくなり、その都度中敷きを取り替えなくてはならないために不経済であり、後者の靴の中に消臭スプレーを噴霧するものにおいては中身がなくなったら前記同様に取り替えなくてはならないために不経済であるとともに、長い時間の消臭効果を期待することができない等の問題点があった。

【0004】本発明は上記問題点を解決し、特に蒸れ等による靴の中の嫌な臭いを確実に取り除くことができる

の手段として、本発明に係る靴の消臭装置は、靴を履む位置にはエアースパイプのエアースピカ吹き出し口が配設されるとともに、前記エアースパイプのエアースピカ吹き込み口にはイオン及びオゾンを含む風を発生させるオゾン発生器が設けられていることを特徴とする。

【0005】前記オゾン発生器は筒状電極とこの筒状電極の一方の開口部の外側付近に配置された針状電極とにより形成され、前記電極間に高電圧を印加することで筒状電極内が帯電してクーロン力とコロナ放電による放電エネルギーによって発生するイオン及びオゾンを含む風を前記筒状電極の他方の開口部から吹き出すように形成されたものであってもよい。

【0006】前記オゾン発生器によって発生されたイオン及びオゾンを含む風をファンによって強制的にエアースパイプのエアースピカ吹き出し口から吹き出させるように形成されたものであってもよい。

【0007】前記エアースパイプのエアースピカ吹き出し口が上下動可能に設けられたものであってもよい。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、図面によって本発明の実施の形態の一例について説明する。

【0009】図1において、符号1は本発明に係る靴の消臭装置を示し、この靴の消臭装置1は靴2を載置する載置台3とエアースパイプ4とオゾン発生器5とによって主に構成されている。

【0010】載置台3は側面視台形状を有する中空で長尺の基部材3aとこの基部材3aの上部中央に立設された中空の壁部材3bとによって形成されている。そして、前記基部材3aの側面にはその内部と外部とを連通する通気孔6が穿設され、また、前記壁部材3bの前部には靴2を載置する三つの載置板7が所定間隔を置いて設けられている。

【0011】エアースパイプ4は図2に示すように正面視し字状を有するとともに載置台3内に配置され、その一端は前記載置台3を形成する基部材3a内の中央付近に、他端は壁部材3b内の一側寄りの上部にそれぞれ位置されている。

【0012】壁部材3b内の一側寄りに位置されたエアースパイプ4には水平方向に配置された一つの可動エアースパイプ4aが連結部8を介して所定間隔に設けられるとともに、前記各可動エアースパイプ4aにはし字状を有するパイプからなる多数のエアースピカ吹き出し口9が取り付けられている。

【0013】各可動エアースパイプ4aに設けられた多数のエアースピカ吹き出し口9は、この各可動エアースパイプ4aの後端に設けた把手11を上下動させることで可動エア

【請求項1】靴を履む位置にはエアースパイプのエアースピカ吹き出し口が配設されるとともに、前記エアースパイプのエアースピカ吹き込み口にはイオン及びオゾンを含む風を発生させるオゾン発生器が設けられていることを特徴とする靴の消臭装置。

【請求項2】前記オゾン発生器は筒状電極とこの筒状電極の一方の開口部の外側付近に配置された針状電極とにより形成され、前記電極間に高電圧を印加することで筒状電極内が帯電してクーロン力とコロナ放電による放電エネルギーによって発生するイオン及びオゾンを含む風を前記筒状電極の他方の開口部から吹き出すように形成されたことを特徴とする請求項1記載の靴の消臭装置。

【請求項3】前記オゾン発生器によって発生されたイオン及びオゾンを含む風をファンによって強制的にエアースパイプのエアースピカ吹き出し口から吹き出させるように形成されたものであってもよい。

【請求項4】前記エアースパイプのエアースピカ吹き出し口が上下動可能に設けられたものであってもよい。

【請求項5】前記エアースパイプのエアースピカ吹き出し口が上下動可能に設けられたものであってもよい。

【請求項6】前記エアースパイプのエアースピカ吹き出し口が上下動可能に設けられたものであってもよい。

【請求項7】前記エアースパイプのエアースピカ吹き出し口が上下動可能に設けられたものであってもよい。

【請求項8】前記エアースパイプのエアースピカ吹き出し口が上下動可能に設けられたものであってもよい。

【請求項9】前記エアースパイプのエアースピカ吹き出し口が上下動可能に設けられたものであってもよい。

【請求項10】前記エアースパイプのエアースピカ吹き出し口が上下動可能に設けられたものであってもよい。

【０００２】靴の消臭装置１は上述のように構成されているので、その使用にあたっては、まず、図１に示すように載置台３の壁部材３ｂの前面に設けた二つの載置板７に靴２を載置した状態に置いて前記載置台３の基部材

【0030】さらに、請求項3の発明によれば、オゾン発生器によって発生されたイオン及びオゾンを含む風をファンによって強制的にエアバインダのエア吹き出し口から吹き出させるように形成するものである。イ

DERWENT-ACC-NO: 2000-675049
DERWENT-WEEK: 200066
COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Deodorizer for shoes, supplies air consisting of ion and ozone,
generated by ozonizer, sequentially via distribution section,
blow section of
flow pipe, to shoes

PATENT-ASSIGNEE: KYORITSU DENKI SANGYO KK[KYOFN]

PRIORITY-DATA: 1999JP-0046521 (February 24, 1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES	MAIN-IPC	
JP 2000236914	September 5, 2000	N/A
A43D 003/12		004

A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2000236914A	N/A	1999JP-0046521
February 24, 1999		

INT-CL_(IPC): A43D003/12; A47L023/20 ; A61L009/015

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000236914A

BASIC-ABSTRACT: NOVELTY - Air consisting of ion and ozone, is generated using ozonizer. The generated air is blown sequentially via distribution section, blow section (9) of air pipe to the shoes.

USE - For deodorizing shoes.

ADVANTAGE - The deodorizing effect is enhanced since blown air consists of ions and ozone. The positioning of shoes is easy since blowing section of air pipe, is movable.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the perspective view of

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/3

TITLE-TERMS:

SHOE SUPPLY AIR CONSIST ION OZONE GENERATE SEQUENCE DISTRIBUTE
SECTION BLOW
SECTION FLOW PIPE SHOE

DERWENT-CLASS: D22 E36 P22 P28 P34

CPI-CODES: D08-B09; E31-D03;

CHEMICAL-CODES:

Chemical Indexing M3 *01*

Fragmentation Code

C408 C550 C810 M411 M781 M904 M905 M910 Q251 Q261

Q604 R013

Specific Compounds

01887K 01887R 01887U

Registry Numbers

1887U

UNLINKED-DERWENT-REGISTRY-NUMBERS: 1887U

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C2000-204827

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2000-500523